

令和 2 年度
事業報告書

社会福祉法人息吹

令和2年度社会福祉法人息吹事業報告

《総括事項》

1 箕面市指定ごみ袋製袋作業の仕様変更に伴う影響について

生活介護もみじの家の基幹作業である箕面市指定ごみ袋製袋作業について、箕面市の仕様変更に伴って工数が増えて納品数が激減したうえ、受注量も徐々に減り、新たな作業単価の検討についても作業に参加する関係事業所と発注元である箕面市との調整が難航した。箕面市議会でも議論された結果、今後3年間にわたって慣れに伴う単価逡減の方針とともに令和3年度の作業単価が最終調整された。当該作業はもみじの家の基幹作業として位置付けてきたため、この影響をまともに受けてしまい、本年度の工賃は前年度の6割弱、全く影響のなかった前々年度の5割弱に激減した。来年度以降の市の単価逡減方針を踏まえて、今後はさらなる基幹作業の開拓を検討する必要がある。

2 グループホームについて

法人事業所の利用者以外にも対象を広げて新規入居の促進に取り組んだ結果、3件の入居があり、空室は1室に減った。年度末にさらなる入居希望があるため、今後満室になる見込みである。今後は、新入居者が新たな生活に慣れて安心して生活を送れるよう支援を充実することが重要である。

3 利用者の減少について

法人が運営する日中活動系事業所全般において、利用者が減少しており、収入減少の要因となっている。一年に数件もの一般就労が実現したり、体調不良で通所が安定しなかったり、入院で契約解除せざるを得なくなったり、理由は多岐にわたっている。

4 利用者及び家族の高齢化について

少子高齢化の影響は、精神障害者の日常生活及び社会生活に多様な問題となって表れている。当法人が事業運営のなかで認識している課題としては、精神障害当事者本人の高齢化、家族の高齢化によって家族が担えなくなった本人への支援体制の変化、逆に家族の高齢化によって家族への家事や介護などを本人が担うことの負担や不安の高まりの3点に整理できる。

こうした課題への対応としては、本人や家族のニーズに基づきながら、障害福祉

サービスだけでなく高齢福祉サービスや民生委員児童委員、その他の地域のインフォーマルサービス等を活用しつつ、成年後見制度を始めとした権利擁護の制度も含めて柔軟に取り組んでいく必要がある。

5 感染症対策について

新型コロナウイルスの感染拡大によって、リモートワークや外出自粛が叫ばれるなか、社会福祉施設は十分な感染防止策をして運営を続けるよう要請されており、法人が運営する事業所でも、「三つの密」を避けたり、マスク、咳エチケットの徹底、検温と体調確認、こまめな手洗い、施設内の消毒、職員のテレワーク、大勢が集まる会議やイベントの中止など、できる限りの対策をとって運営し続けている。

《事業別報告》

1 理事会・評議員会開催状況

(1)理事会開催状況(全3回)

第1回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時: 令和2年5月26日(火)

第1号議案 令和元年度社会福祉法人息吹事業報告及び決算並びに職務執行状況報告の件

第2号議案 令和2年度定時評議員会招集通知記載事項の件
報告第1号 評議員選任の件

第2回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時: 令和2年12月7日(月)

第3号議案 令和2年度補正予算(案)の件
第4号議案 評議員選任・解任委員選任の件

第3回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時: 令和3年3月16日(火)

第5号議案 職員給与規程一部改正の件
第6号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくかたばみ寮(共同生活援助)運営規程一部改正の件
第7号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくもみじの家(生活介護)運営規程一部改正の件
第8号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

に基づくあっとほーむ(就労継続支援B型)運営規程一部改正の件

第9号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくシェスタ(就労継続支援B型)運営規程一部改正の件

第10号議案 令和2年度補正予算(案)及び職務執行状況報告の件

第11号議案 令和3年度事業計画(案)及び予算(案)の件

第12号議案 評議員候補者選任の件

(2)評議員会開催状況(全1回)

定時評議員会

開催日時: 令和2年6月10日(水)

第1号議案 令和元年度社会福祉法人息吹事業報告及び決算の件

報告第1号 評議員選任報告の件

2 地域交流啓発事業及び全体事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、例年実施してきた全ての地域交流啓発事業等が中止となった。(参考に令和元年度の実施事業を再掲する。)

5月18日(土) 春のバザー出店

6月14日(金) 息吹合同レク・バーベキュー大会(パオみのお)

7月1日(日) 南小学校「みなみパワフルランド」出店

7月3日(水) ハートパーク(萱野北小学校ワークショップⅠ)

7月8日(月)～12日(金) ハートパーク(萱野北小学校もみじの家施設体験)

7月12日(金) みのおライフプラザ夏まつり出店

7月16日(火) ハートパーク(萱野北小学校ワークショップⅡ)

7月27日(土)～28日(日) 箕面まつり出店

8月30日(金) あかつき福祉会納涼祭出店

9月6日(金) 息吹日帰り旅行(兵庫県三田市方面)

12月12日(木) こころの会交流会

12月20日(金) みのおライフプラザ冬まつり出店

1月18日(土) ハートパーク(萱野北小会館・発達障害に関する学習会)

3 ボランティア・見学・実習の受入れ

(1) ボランティア・見学・実習の受入れ状況

ボランティア受入れ延べ人数	43 人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	21 人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	4 人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	6 人

(2) 主な見学及び実習の受入れ機関等

精神保健福祉ボランティアこころの会、大阪バイオメディカル専門学校、

4 会議への派遣

- ・(社福)箕面市社会福祉協議会評議員会
- ・(社福)あかつき福祉会評議員会
- ・(社福)あかつき福祉会 グループホーム運営委員会
- ・(財)箕面市障害者事業団採用検討委員会
- ・(財)箕面市障害者事業団理事会
- ・(財)箕面市障害者事業団評議員会
- ・(財)箕面市障害者事業団自主事業運営委員会
- ・箕面市障害者市民施策推進協議会
- ・箕面市地域自立支援協議会運営会議
- ・箕面市地域自立支援協議会相談支援部会
- ・箕面市地域自立支援協議会地域移行・定着支援部会
- ・箕面市地域自立支援協議会権利擁護部会
- ・箕面市地域自立支援協議会障害者就労系通所事業所 情報交換会
- ・アンテナショップ運営委員会
- ・大阪精神障害者地域生活支援連絡協議会
- ・箕面市生活困窮者自立支援事業推進協議会
- ・箕面市社会福祉法人連絡会

5 職員研修実施状況

(1) 職場研修

- ・人権問題に関する研修(伝達講習)
- ・箕面市自立支援協議会権利擁護部会「虐待防止研修」(伝達講習)
- ・箕面市自立支援協議会権利擁護部会「成年後見の申し立て手続き研修」(伝達講習)

(2) 主な参加研修

① 資格取得研修

- ・サービス管理責任者研修

② 業務能力開発のための研修

- ・障害等福祉従事者研修非常勤職員研修会
- ・労働セミナー
- ・栄養士・調理師研修会
- ・箕面市自立支援協議会相談支援部会研修会(医療的ケア児の支援事例など)

③ 人権問題及びその他の研修

- ・さまざまな人権問題に関する研修会
- ・社会福祉法人連絡会感染症対策研修会

パオみのお(相談支援事業)事業報告

1 概要

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、緊急事態宣言期間中など、電話等による面談を余儀なくされた事例が増えたため、通常の訪問面談よりも状況把握しにくい等、新たな課題となった。退院促進の取り組みについても、入院患者の感染対策で面会や外出外泊が禁止されて、円滑な退院につながらない事例があった。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 指定特定相談支援事業（計画相談）

「サービス等利用計画」については、パオみのおが箕面市委託相談事業所であることから、困難事例を中心に新規受任作成件数を増やすことが求められている。

人員体制を前年度から2名入れ替えたことで、経験値が下がり新規受任件数を増やせない状況が続いたが、徐々に回復させて結果的には約1割に当たる7件を増やすことができた。

(2) 指定一般相談支援事業（地域移行・地域定着）

箕面市地域自立支援協議会地域移行部会において、精神科病院と連携して地域移行支援に係る院内説明会や、病院職員が地域の日中活動事業所を見学するなど取り組みを続けてきたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で院内説明会と見学を実施することができなかった。また、精神科病院の感染対策で面会や外出外泊が禁止されたため、円滑に支援を実施できない状況が続いている。

(3) 委託相談支援事業（箕面市地域生活支援事業）

箕面市の委託相談支援事業所として、精神障害者の困難事例への対応件数を増やすよう求められている。障害福祉サービスを利用することで生活の質の向上が見込まれるものの、様々な理由でサービス利用に至らないなど、対応が困難な事例が増えている。他の計画相談支援事業所が担当する利用者の一人暮らしに関して、委託相談支援として住居探し等の居住サポートを実施した事例もあった。

3 今後について

(1) 指定特定相談支援事業（計画相談）

困難事例を中心に新規受任件数を増やすよう求められていることについて

は、職員体制を確保するとともに、職員の相談スキルの向上に向けた育成体制を充実させる必要がある。

(2) 指定一般相談支援事業（地域移行・地域定着）

個別支援や地域の体制整備について、大阪府地域精神医療体制整備広域コーディネートや自立支援協議会地域移行・定着支援部会と連携した支援を行うとともに、引き続き部会における検討を行う。

(3) 委託相談支援事業（箕面市地域生活支援事業）

困難事例への対応については、引き続き箕面市基幹相談支援センターと連携して支援に当たるとともに、職員研修等による能力強化と連携強化に努める。障害福祉サービスが必要にもかかわらず、サービス利用に至っていない障害者への支援については、柔軟に利用が可能な地域活動支援センターを活用することに対応していく。

4 主な活動実績

(1) 計画相談支援事業（指定特定相談支援事業）（単位：件）

	2年度	元年度	前年度比
サービス等利用計画作成	74	93	79.6%
モニタリング	288	291	99.0%

(2) 地域相談支援事業（指定一般相談支援事業）（単位：件）

	2年度	元年度	前年度比
地域移行支援	1	2	50.0%
地域定着支援	0	0	-%

(3) 相談支援事業実績（箕面市地域生活支援事業）（単位：件）

	2年度	元年度	前年度比
相談支援	3,292	2,728	120.7%
生活サポート	44	24	183.3%

※地域生活サポートについては、令和元年度から計画相談対象者を除いた数値に変更された。

パオミのお(地域活動支援センター)事業報告

1 概要

新型コロナウイルス感染拡大の状況があるにもかかわらず、サロン利用者の減少傾向が回復し増加に転じた。相談支援事業と併せて地域活動支援センターⅠ型として営業時間を見直したことが定着し、外出自粛の反動で安心な外出先と認識が深まった可能性がある。

2 特筆すべき事項と課題

- (1) サロンの営業時間について、地域活動支援センターと相談支援事業の利用状況を考慮して課題を検討し、利用者アンケート結果も踏まえて、令和元年9月から地域活動支援センターの営業時間を相談支援事業と同じ9時00分から17時30分(土祝は13時45分まで)に変更した。これによって、営業時間を1時間延長することができ、午前の時間帯の利用ニーズに対応しており、利用者間で定着してきている。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、全ての当事者活動が中止となっただけでなく、地域包括支援センターとして実施している定例のレクリエーション活動も感染対策上問題がある場合は中止している状況が続いた。
- (3) サロンで過ごすことが難しい利用者を対象に実施してきたグループワーク事業については、月2回の活動が定着しており、昨年度新たに創設したグループも安定して活動している。

3 今後について

- (1) 多様化する利用者ニーズに対応するため、内部研修の実施や外部研修の積極的活用により職員育成に努める。
- (2) グループワーク事業については、二つのグループそれぞれの雰囲気に参加しやすいものに醸成して、さらに充実させることが重要である。
- (3) 感染対策について、マスク着用、検温、手洗い、消毒、定期的(1時間に1回)な換気など、可能な範囲の対策を継続することが不可欠である。

4 主な活動実績

(1) 当事者活動支援 0人(8人)

魁スポーツ推進振興クラブ、カメカメクラブ、カチカチクラブ等は新型コロナウイルス感染拡大の影響により休会中

(2) レクリエーション活動 79人(157人)

花見散歩、カフェ

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止した活動（日帰り旅行、外食、ショッピングツアー、茶話会、DVD鑑賞会、魚釣り、焼肉パーティー等）

(3) 独自事業

①グループワーク事業	延利用者数	76人（107人）
②食事作り事業	延利用者数	259人（327人）
③送迎事業	延利用者数	59人（101人）

※（カッコ）内は昨年度実績

5 利用者状況

(1) 利用実績

	2年度	元年度	前年比
延べ利用者数	3,149人	2,936人	107.3%
開所日数	309日	309日	100.0%
1日あたり平均利用者数	10.2人	9.5人	107.4%

(2) 登録者数

令和3年3月31日現在（単位：人）

	2年度	元年度	前年比
男性	174	172	105.5%
女性	136	133	115.7%
合計	310	305	109.7%
新規登録者数	7	27	26.0%

(3) 障害種別

令和3年3月31日現在（単位：人）

	登録数	精神	身体	知的	発達	高次脳
男性	174	153	1	10	9	1
女性	136	128	0	2	5	1
合計	310	281	1	12	14	2

かたばみ寮(共同生活援助)事業報告

1 概要

法人事業所の利用者以外にも対象を広げて新規入居の促進に取り組んだ結果、3件の入居があり、空室は1室に減った。年度末にさらなる入居希望があるため、今後満室になる見込みである。今後は、新入居者が新たな生活に慣れて安心して生活を送れるよう支援を充実することが重要である。

2 特筆すべき事項と課題

- (1) 3名の新規入居があり、それぞれに安定した生活をめざしている。新たな生活ルールに自然に馴染めるよう、見守りや声掛けの支援を重要視している。
- (2) 残り1室の空室への入居について、年度末にさらなる入居希望があるため、令和3年度当初には満室になる見込みである。
- (3) 個別支援計画については、年に1度の計画作成と半年に1回のモニタリングを行っている。昨年度に引き続き、日中活動先の就労継続支援B型事業所及び地域活動支援センターとの連携強化を図りつつ計画を作成するよう留意した。
- (4) 利用者の障害種別が精神障害だけでなく知的障害や発達障害など多様化しているとともに利用者の高齢化も進んでいる。
- (5) 利用者に新型コロナウイルス感染症の陽性者や濃厚接触者が生じたときは、住居において療養することとなる可能性が高いため、協力医療機関の指導に基づいて居室替え、ゾーニングのシミュレーション、防護服などの個人防護具の着用訓練など備えが必要である。

3 今後について

- (1) 個別支援計画の目標に達していない利用者へのアプローチを関係施設、関係機関と連携をとりながら強化する。
- (2) 障害種別の多様化と利用者の高齢化により、支援力の向上・強化が求められている。世話人・生活支援員の体制を見直すとともに、内部研修の実施や外部研修への参加を積極的に行っていく。
- (3) 感染症対策について、今年度緊急包括支援補助金を活用して準備した感染対策物品を活用して、実際に防護服を着たりゾーニングしたりする訓練をしておくことで、突然の感染発生に冷静に対応できるようにしておくことが不可欠である。

4 利用者状況(令和3年3月31日現在)

①利用者数(単位:人)

	定員	利用者
かたばみ寮	2	2
第2かたばみ寮	4	3
ぶなの木荘	5	5
第2ぶなの木荘	3	3
合計	14	13

②利用者の特性

平均年齢	52.7 歳	
平均在籍年数	8 年 8 か月	
障害支援区分	区分 2	2 人
	区分 3	8 人
	区分 4	3 人

③利用者の日中活動先(単位:人)

もみじの家	4
あっとほーむ	3
シェスタ	1
就労	1
その他	4

生活介護もみじの家事業報告

1 概要

箕面市指定ごみ袋製袋作業について、市の仕様変更に伴って工賃が激減しているため、今後は新たな基幹作業を開拓する必要性が生じている。

生活介護プログラムについては、事業所としての経験を重ねて安定した運営となってきたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でプログラムの中止や変更が多くなっている。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 日中活動支援

日中活動プログラムについては、週1回のミーティングにおいてプログラム内容を丁寧に説明したり、利用者の発案を促すなど、利用者が主体となって活動内容を決定できるように努めた。

個別支援計画を作成し、年2回の定期面談を通して具体的な目標や取り組みを検討した。その結果、利用日数を増加したり、より長時間の利用につながるなど活動意欲の向上につながった。

基幹作業である箕面市指定ごみ袋製袋作業について、箕面市の仕様変更検討に伴って工賃が増えて納品数が激減したうえ、受注量も徐々に減り、工賃は前年度の6割弱に激減した。

(2) 地域生活支援

利用者が居住の場から安心して通所するための送迎サービスについて、利用ニーズに応じて、送迎ルート調整と送迎体制(車両及び職員体制)の確保に努め、往路送迎は車両2台で3便体制となっている。

日常生活において保清が苦手な利用者を対象とした入浴サービスについて、夏季には多くの利用があり好評だった。

(3) その他

関係機関と新規利用調整をして新規契約者数、延べ利用者数ともに増加した。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、プログラムの中止や変更が多くなっている。

3 今後について

箕面市指定ごみ袋製袋作業について、来年度以降の市の単価逦減方針を踏まえて、今後はさらなる基幹作業の開拓を検討する必要がある。

延利用者数は堅調に回復してきたが、年度末に利用者数名が他事業所に移行するなど減少要因があるため、パオみのお等の相談支援事業者や関係機関と連携してPRするなど新規利用者を増やす取り組みが必要である。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

①主な就労支援事業収入

事業内容	2年度	元年度	対前年度比
受託事業(箕面市ごみ袋製袋等)	923,843 円	2,206,145 円	41.9%
その他(自主製品)	407,189 円	616,630 円	66.0%
計	1,331,032 円	2,822,775 円	47.2%

②利用者一人当たりの月額平均工賃額

2年度	元年度	対前年度比
5,589 円	9,765 円	57.2%

(2) 日中活動プログラム

①主な日中活動プログラムの活動実績

プログラム	年回数	概要
作業	249 回	箕面市指定ゴミ袋、おみくじ折り、オレンジリボンなど
ミーティング	46 回	プログラム内容及び施設利用ルールなどについて、利用者に説明したり意見を出し合ったりする。
運動	29 回	稲スポーツセンター等の運動施設やもみじの家において、バレーボール・バスケットボール・卓球等に親しむ。
調理実習	22 回	ボランティアグループこころの会と利用者が調理し食事する。
健康教室	20 回	医師及び看護師による健康相談（血圧、脈拍など）及び健康知識の講習会など。
もみじカレッジ	12 回	漢字、算数、地理、英語などを職員と楽しく学ぶ。
ゲーム	12 回	カードゲームやボードゲームなどを楽しむ。
お菓子作り	11 回	簡単に作れるお菓子を食材調達して楽しく作って食べる。
映画鑑賞	6 回	DVDによる映画鑑賞をして感想文を書く。
パソコン	9 回	パソコンを使って基本操作などを体験しスキルアップする。
カラオケ	2 回	もみじの家でカラオケを楽しむ。 ※消毒、マスクなど対策して実施

※上記の他に、スマホ携帯教室(1)、ドライブ散策(2)、フリータイム(10)、工作(1)、散歩(4)、図書館散策(3)、地域清掃(1)、茶話会(2)など。

②ボランティア・見学・実習参加状況

ボランティア受入れ延べ人数	43 人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	5 人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	3 人
萱野北小学校体験実習受入れ延べ人数	0 人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	4 人

(2) その他の活動

①施設外活動

例年は、箕面市精神保健福祉ボランティアグループこころの会交流会、春のバザー・箕面まつりに参加しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。

②啓発活動

例年は、箕面市教育委員会、箕面市社会福祉協議会等と連携して精神障害者理解促進事業ハートパークに取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

令和3年3月31日現在

項目	2年度	元年度	対前年度比
利用契約者数	26 人	25 人	104.0%
平均年齢	52.6 歳	49.7 歳	+2.9 歳
稼働日数	243 日	246 日	98.8%
延べ利用者数	2,818 人	2,652 人	106.3%
1 日平均利用者数	11.6 人	10.8 人	107.4%

(2) 障害者福祉手帳所持状況

令和3年3月31日現在(単位:人)

	利用者数	1 級	2 級	3 級	B1	B2
男	20	1	15	1	2	1
女	6	0	5	0	1	0
合計	26	1	20	1	3	1

就労継続支援B型あっとほーむ事業報告

1 概要

個別支援計画において具体的な目標や取り組みを検討し、年2回のモニタリングを通して検証するとともに、関係機関との連携により生活及び就労に係る支援を実施した。

配食サービスでの安定した受注があったため、利用者の作業ペース及び作業内容に配慮した作業機会の提供ができた。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 就労支援事業

就労支援事業収入について、新型コロナウイルス感染拡大の影響でもみじの天ぷら販売店からの受注量が激減した。一方で配食サービス事業の売上が増加したため、就労支援事業収入に占める配食サービス売り上げの割合が約98%を占める結果となった。

工賃について、週4、5日を安定して通所できる利用者が増えたことで総作業時間数が増加して工賃単価が下がる要因がありつつも、それを上回るかたちで配食サービス事業が売上高110%増を達成できたため、月額平均工賃額は対前年度比で130%増加した。

一般就労への移行について、企業のリモート面接などを経て利用者2名が就職を実現した。

緊急事態宣言によって就職先の事業所が休業した元利用者の希望に応じて、あっとほーむを再利用をし日中活動の場を確保した。一般就労している利用者の生の声を聞いて、他の利用者にとって良い刺激となって意欲向上につながった。

スチームコンベクションを新規に導入したり、老朽化した冷凍冷蔵庫等を更新したことで、効率的かつ快適な作業環境を整備できた。

(2) 個別支援計画

個別支援計画の作成や年2回のモニタリング及び随時の面談を通じて具体的な個別の支援を行った。成果としては、利用者の意思を尊重した短期目標の設定と課題達成のための取り組みを行うことにより、職業準備性の向上がみられ、企業や協力機関での実習や見学に繋がった。また、計画作成の過程で関係機関との連携が広がった。

3 今後について

就労支援事業について、効率的かつ効果的な事業運営をめざして、必要に応じた業務改善に努め、利用者の生活安定や就労のステップアップに資する事業体系を構築し続けていく必要がある。また、より地域に根ざした活動を行っていき、地域住民との交流を図り、地域のニーズを把握しつつ、事業経営を進めていく。

新規の利用者の受け入れについては、定員と利用契約者数のバランスを考慮しつつ、必要に応じて箕面市を始め、茨木市や池田市等の近隣の関係機関等への説明を行い、新規利用者の受け入れを行っていく。

職員の職場定着に向け育成を行い、サービスの質の向上に努めていく。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

①主な就労支援事業収入

事業内容	2年度	元年度	対前年度比
自主製品事業(ビーズ・陶芸)	0 円	0 円	0%
受託事業(もみじの茎切り)	129,180 円	174,452 円	74.0%
自動販売機管理	97,028 円	102,520 円	94.6%
配食サービス事業	14,459,461 円	12,947,450 円	111.7%
その他(印刷など)	94,200 円	94,350 円	99.8%
計	14,779,869 円	13,318,772 円	111.0%

②利用者一人当たりの月額平均工賃額

2年度	元年度	対前年度比
22,330 円	17,183 円	130.0%

③ボランティア・見学・実習参加状況

利用見学及び実習受入れ延べ人数	11 人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	0 人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	1 人

(2) その他の活動

例年は、次の活動に取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で全て中止となった。

- ①施設外活動(箕面市精神保健福祉ボランティアグループこころの会交流会参加、春のバザー・箕面まつりへの出店参加)

- ②啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク)
- ③余暇活動(あっとほーむ忘年会、新年会、茶話会、外出レクなど)
- ④専門指導研修(調理師による利用者向け、職員向け講習会)

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

令和3年3月31日現在

項目	2年度	元年度	対前年度比
利用契約者数	28 人	25 人	112.0%
平均年齢	48.1 歳	50.0 歳	▲1.9 歳
稼働日数	243 日	246 日	98.8%
延べ利用者数	3,289 人	3,143 人	104.6%
1 日平均利用者数	13.8 人	12.8 人	107.8%

(2) 障害者手帳所持状況

令和3年3月31日現在(単位:人)

	利用者数	2 級	3 級	B 1	B 2	無し	重複
男	14	10	2	1	0	1	0
女	14	7	2	0	4	2	1
合計	28	17	4	1	4	3	1

就労継続支援B型シエスタ事業報告

1 概要

就労支援事業については、新型コロナウイルス感染拡大により販売先が減少したにもかかわらず、新商品を増やしたことで昨年度より収入面では増額することができた。また、利用者の入れ代わりは多かったが、安定通所できる利用者が増えたことで平均利用者数も増加した。しかし、利用時間が増加した割に収入が微増であったため、一人当たりの平均工賃額は減少することになった。

今後も就労支援事業において、移動販売を注文販売に切り替えるなどの対策が必要である。

利用者の支援に関しては、個別支援計画を作成し、年2回のモニタリングをすることによって具体的な目標や取り組みを検討し、効果的な就労支援の提供に努めた。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 就労支援事業

新型コロナウイルスにより、学校や企業などから販売を控えてほしいとの声が多く、急遽対面販売から注文販売などに切り替えるなど工夫が必要となった。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、安心して作業に取り組むことが出来るよう改善を続けることが重要である。

(2) 個別支援計画

利用者個人の面談を通し、個別支援計画の作成と年2回のモニタリングを行い、具体的な個別の支援を行った。このことによって、短期的な目標設定と利用者の意思確認を行い、他機関への実習や見学、関係機関との連携強化といった成果につながった。モニタリング以外でも、都度必要に応じて面談等を行い、利用者の日常生活の悩みの解決を行った。

(3) 利用者の状況

利用者の入れ替わりはあったが契約者数は変更がなかった。

新型コロナウイルス感染対策により在宅でのサービス提供に切り替えた利用者については、シール貼り等の作業を提供して支援を行った。また、一時的に利用時間や日数を減らす利用者が多かった。しかし、目標に向けて体力作りや生活のリズム作りが順調に向上している利用者もあり、各々の状況が利用者同士で刺激になっていた。

3 今後について

感染対策について、喫茶の利用客に対してはパーテーションやサーキュレーターなどの環境を整備し安心して利用できるよう引き続き努めるとともに、焼き菓子販売は販路を拡大することが難しいため、新商品や季節限定商品の取り組みを強化する。利用者についても、手洗い、消毒、検温等感染症対策を今後も徹底し、安心して利用できるよう環境を整えることが必須である。

新規利用者の受け入れについても関係機関等へのチラシ配布などを行いながら進めていく。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

① 主な就労支援事業収入

事業内容	2年度	元年度	対前年度比
焼き菓子販売	4,115,144 円	3,988,692 円	103.1%
委託事業(もみじの茎切り等)	240,000 円	250,000 円	96%
計	4,355,144 円	4,238,692 円	102.7%

② 利用者一人当たりの月額平均工賃額

2年度	元年度	対前年度比
15,602 円	15,718 円	99.2%

③ ボランティア・見学・実習参加状況

ボランティア受入れ延べ人数	0 人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	5 人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	1 人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	1 人

(2) その他の活動

例年は、次の活動に取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で全て中止となった。

- ① 施設外活動(市内小学校イベント参加、箕面市精神保健ボランティアグループこころの会交流会参加、市内お祭りへの出店参加)
- ② 啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク)
- ③ 余暇活動(なかよし会等)

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

令和3年3月31日現在

項目	2年度	元年度	対前年度比
利用契約者数	19 人	19 人	100.0%
平均年齢	38.6 歳	39.6 歳	▲1 歳
稼働日数	243 日	244 日	99.5%
延べ利用者数	2,936 人	2,265 人	129.6%
1 日平均利用者数	12.11 人	9.3 人	130.2%

(2) 障害者福祉手帳所持状況

令和3年3月31日現在(単位:人)

	利用者数	1 級	2 級	3 級	A	B 1	身体 3 級	なし
男	9	0	6	1	0	0	0	2
女	10	0	5	1	1	1	1	1
合計	19	0	11	2	1	1	1	3